



外国語教育の充実を図る!!!

～全面実施までの1年間で取り組むべきことと目指す授業づくりのポイント～

今年度取り組むべきこと

→ **言語活動**とは…

- ①「**言語活動を通して**」の意味を理解し実践をする
- ②指導者の英語力の向上
- ③高学年における「読むこと」「書くこと」の指導の在り方について理解し実践をする
- ④小中連携をより一層進める

「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う」活動

※「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」H29.6.30文部科学省

目指す授業

自ら思考して言葉をつむぎだす、児童の主体的なコミュニケーションが生まれる授業

そのために今年度大切にしたいこと

児童が考えや気持ちを聞きたい話したいする機会を様々な場で設定する

自分のことを言うから楽しい!

その場で、何が出てくるかわからないから楽しい!
考えて言えた時・伝わった時はとっても嬉しい!

【例】 Let's Try! 1 Unit 4 I like blue.

デジタル教材のLet's Listenを扱った授業では、多くの学校で次のような指導上の工夫がなされています。

- ・事前に場面や状況、活動の目的を児童と確認してから、デジタル教材を聞く。
- ・一度に全部を聞くのではなく、一つずつ順番に聞く。
- ・事前に答えを予想し、聞く必然性を持って聞くことができるようにする。
- ・一回目に聞いた後、聞き取れた語句を発表してからもう一度聞く。等



子供たちが、もっと自分や友達の考えや気持ちを話したり聞いたりするには・・・

Let's Listenを聞く前に、たけるとエミリーは何が好きか予想してみましょう。

既習表現等を使って、互いの気持ちや考えをやり取りして進める授業にchange!

担任: Open your textbook to page sixteen.

(モニターのデジタル教材を指しながら)

What's this? (これは何でしょう?)

児童: Baseball! / Green! / Swimming! / Pudding!

担任: Good! / That's right!

(イラストや人物について確認した後)

I like onions. Aさん。Do you like onions?

A児: Yes, I do.

担任: Good! You like onions. I like onions, too.

(相手や質問を変えながらやり取りする)

Bさん。Do you like milk?

B児: No, I don't.

担任: **Why?** (どうして?)

B児: 本当は飲みたいけれど、すぐお腹が痛くなってしまふから、あまり好きではないです。

担任: It's too bad. それは残念ですね。Thank you.

担任: Look at the textbook. Takeru and Emily.

What can you hear? (何が聞こえる?)

二人は何を言っているんでしょうね。

※この後、デジタル教材を聞く

まず誌面にあるイラストや写真について、既習表現等を使って**指導者が児童とやり取り**をする。

※イラストを指したりジェスチャーをつけたりしながら話すことで、児童は指導者の話の内容を推測しようとする。「○○ってこと?」等とつぶやく児童をしっかりと褒めることで、次の場面で、自分も推測してみようという児童が増える。

じっくりと聞く、ほめる、一言返す、励ます等、**指導者自身が「よい聞き手」**となって聞き方・反応の仕方のモデルを示す。

※既習表現等が少ない3年生は、日本語でもよいとすることで、児童の負担が軽くなる。やり取りを積み重ねた児童は「英語で何と云うのかな?」と興味を持ち、英語を用いたコミュニケーションへの意欲も高まる。

指導者と児童とのやり取りを通して、どのような内容が扱われているのかを児童に予想させたり、予備知識を持たせたりした上で、デジタル教材の音声聞かせ。